

令和 8 年 度

日田市奨学資金（貸与型）募集案内

（ 奨 学 金 ・ 入 学 準 備 金 ）

申込期間：令和 7 年 1 2 月 1 日（月）～令和 8 年 1 月 3 0 日（金）必着

日 田 市 教 育 委 員 会

令和8年度 日田市奨学資金（貸与型）募集要項

〔奨学金（返還必要）〕

令和8年度日田市奨学金（貸与型）を以下のとおり募集します。

1. 申込資格

次の①から⑤の要件を全て満たす満24歳以下の者

令和8年1月30日に申請の場合、平成13年1月31日以降に生まれた方が満24歳以下の方となります。

- ① 令和8年度に高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程及び専門課程に限る）、短期大学、大学（大学院を除く）に進学する者又はこれらの学校に在学中の者
- ② 向学心に富み、学業その他の優れた資質を有すると認められる者
- ③ 保護者が、市内に2年前から引き続き住所を有している者
- ④ 保護者が、市税を完納している者
- ⑤ 経済的に学資の資金調達が困難な者

4人世帯（父・母・本人・兄弟姉妹）で、1人の給与収入により生活している場合の収入の目安
・高校、高専に進学予定の場合 約770万円
・専修、短大、大学に進学予定の場合 約940万円（世帯構成等により異なります）

2. 利息 無利子

3. 奨学金の種類と貸与限度額

学 校 区 分		奨学金貸与限度額
高等学校 (注)	自 宅	月額 8,000円
	自 宅 外	月額 15,000円
高等専門学校		月額 17,000円
専修学校（専門課程・高等課程） 短期大学 大 学		月額 30,000円

(注) 高等学校で鉄道又はバスにより通学を行う場合においては、上記貸与限度額に4,000円を上限に加算できます。

4. 貸与期間

令和8年4月から在学する学校の正規の最短修業期間とします。

5. 提出書類

日田市教育委員会等に用意している所定の用紙に記入の上、必要書類を添えてお申し込みください。
(別表参照) 申込書は市内の中学校・高等学校及び各振興局・各振興センターにも配布しています。
(①～⑤の書類については、日田市のホームページ (<https://www.city.hita.oita.jp/>) からダウンロードできます。)

記入にあたっては、記入例及び『申込書の記入及び関係書類提出にあたっての注意事項』をご参照ください。収入要件等ご不明な点はお問合せください。

提出書類	書類取得場所	備考
① 日田市奨学金申込書	市教育委員会 各振興局 各振興センター	様式『日田市奨学金申込書』 <u>(本人記載)</u> ※ 記入例を参照してください。 ※ 申込者(生徒)及び同居世帯のうち <u>納税義務者全員</u> の個人番号(マイナンバー)の記入及び本人確認書類の提出が必要です。個人番号(マイナンバー)が不明の場合で、市職員による番号確認に同意される方は、「提出前チェックシート」の承諾欄にチェックを入れてください。
② 提出前チェックシート		様式『日田市奨学資金申込書【提出前チェックシート】』 ※ 全ての項目にチェックしていることを確認してください。
③ 同意書Ⅰ通		様式『同意書』 ※ 地方税関係情報の取得について同意していただくものです。世帯内納税義務者全員が署名・記入してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
④ 市税等納付状況証明Ⅰ通		世帯内納税義務者全員の市税等納付状況証明を様式『市税等納付状況証明願』で取得してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可 ※ 他市町村で課税されている方は、課税されている市町村で証明を取得してください。
⑤ 推薦調書Ⅰ通	在学学校・出身校	様式『推薦調書』 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
⑥ 成績証明書Ⅰ通	在学学校・出身校	在学学校・出身校にて発行 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
⑦ 本人確認書類Ⅰ通		申込書に記入した個人番号(マイナンバー)の本人確認書類を提出してください。 ※ 別紙「個人番号の記入と本人確認書類の提出について」を参照してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可

※ 入学準備金(貸与型)又はみどりの給付型奨学金の申込みと同時に奨学金(貸与型)の申込みを行う場合、上記③から⑦の書類はⅠ通の提出で可能です。

※ 申込者及び同居世帯のうち納税義務者全員の個人番号(行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定める個人番号をいいます。)は、奨学資金の貸与に関する事務を行うために利用します。

6. 申込期間

令和7年12月1日（月）～ 令和8年1月30日（金）必着 ※土・日・祝日・年末年始を除く。

7. 奨学生の決定

書類選考により合否決定を行い、**3月上旬**に申込者本人に通知します。

※注）奨学金の決定通知を受け取った後、教育委員会が定める日までに誓約書等の提出がない者については、日田市奨学資金に関する条例第9条第4項の規定により決定を取り消します。

8. 貸与決定後の手続き

決定通知を受け取られた後、教育委員会が定める日までに**誓約書、在学証明書、口座振替依頼書の提出が必要**となりますが、貸与にあたり必ず**連帯保証人が2名必要**です。連帯保証人のうち1名は保護者とし、他の1名は同居の家族以外の者で**日田市に住居を有する年齢25歳以上の者**とします。

連帯保証人から提出していただく書類として、次の書類が必要となります。

誓約書提出時（貸与決定後） ※ 誓約書に自署、実印の押印	①滞納のない証明書（市税） ②市県民税所得課税証明書（市民税の所得割額がある方のみ）又は固定資産税の納税証明書 ③印鑑登録証明書 ④住民票（本籍記載のもの） ※保護者については、印鑑登録証明書のみ添付していただきます。
借用証書提出時（貸与終了後） ※ 借用証書に自署、実印の押印	①滞納のない証明書（市税） ※ただし、誓約書提出時と連帯保証人が変更となる場合は、誓約書提出時に提出していただく書類全てが必要です。 ※また、誓約書提出時に連帯保証人の要件を満たしていた方が、借用証書提出時にその要件を満たしていない場合は、新たに連帯保証人を定めていただく必要があります。その場合も誓約書提出時に提出していただく全ての書類が必要です。

9. 奨学金の返還

奨学金の貸与が終了すると、返還の義務が生じます。

返還金は、後輩奨学生の奨学金として直ちに活用される重要なものです。

奨学生として奨学金の貸与を受けた者は、卒業の日から1年を経過した日の属する月の翌月から起算して、15年以内に貸与を受けた奨学金を月賦、半年賦又は年賦にて返還していただきます。

また、高等学校等を卒業後に進学した場合は、猶予願いの提出により、進学した学校を卒業した後（但し、借用証書等の提出および猶予願の提出が必要です。）に上記の方法により返還することができます。

※注）奨学金の貸与終了後には、貸与を受けた奨学生本人より借用証書等の提出が必要です。教育委員会が定める日までにこの借用証書等の提出がない場合は、債務負担の保証人であります保護者もしくは連帯保証人の方へ一括して、貸与を行った金額をご返還いただきます。

[入学準備金（返還必要）]

令和8年度日田市入学準備金（貸与型）を以下のとおり募集します。

1. 申込資格

次の①から⑤の要件を全て満たす満24歳以下の生徒・学生の保護者

令和8年1月30日に申請の場合、平成13年1月31日以降に生まれた方が満24歳以下の方となります。

- ① 令和8年度に高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程及び専門課程に限る）、短期大学、大学（大学院を除く）に進学する者の保護者
- ② 向学心に富み、進学する者が、学業その他の優れた資質を有すると認められる者
- ③ 市内に2年前から引き続き住所を有している者
- ④ 市税を完納している者
- ⑤ 経済的に学資の資金調達が困難な者
 - ・4人世帯（父・母・本人・兄弟姉妹）で、1人の給与収入により生活している場合の収入の目安
 - ・高校、高専に進学予定の場合 約770万円
 - ・専修、短大、大学に進学予定の場合 約940万円（世帯構成等により異なります）

2. 利息 無利子

3. 入学準備金の貸与限度額

学 校 区 分	入学準備金貸与限度額
高等学校	100,000円
高等専門学校	100,000円
専修学校（専門課程及び高等課程）	200,000円
短期大学及び大学	200,000円

4. 貸与の時期

入学準備金貸与決定後、必要書類の提出を受けて、3月下旬から貸与を行います。

5. 提出書類

日田市教育委員会等に用意している所定の用紙に記入の上、必要書類を添えてお申し込みください。（別表参照）申込書は市内の中学校・高等学校及び各振興局・各振興センターにも配布しています。（①～⑤の書類については、日田市のホームページ（<https://www.city.hita.oita.jp/>）からもダウンロードできます。） 記入にあたっては、記入例及び『申込書の記入及び関係書類提出にあたっての注意事項』をご参照ください。収入要件等ご不明な点はお問合せください。

提出書類	書類取得場所	備考
①日田市入学準備金申込書	市教育委員会 各振興局 各振興センター	様式『日田市入学準備金申込書』 ※ 記入例を参照してください。 ※ 申込者（生徒）及び同居世帯のうち <u>納税義務者全員</u> の個人番号（マイナンバー）の記入及び本人確認書類の提出が必要です。個人番号（マイナンバー）が不明の場合で、市職員による番号確認に同意される方は、「提出前チェックシート」の承諾欄にチェックを入れてください。
② 提出前チェックシート		様式『日田市奨学資金申込書【提出前チェックシート】』 ※ 全ての項目にチェックしていることを確認してください。
③ 同意書Ⅰ通		様式『同意書』 ※ 地方税関係情報の取得について同意していただくものです。世帯内納税義務者全員が署名・記入してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
④ 市税等納付状況証明 Ⅰ通		世帯内納税義務者全員の市税等納付状況証明を様式『市税等納付状況証明願』で取得してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可 ※ 他市町村で課税されている方は、課税されている市町村で証明を取得してください。
⑤ 推薦調書Ⅰ通	在学・出身校	様式『推薦調書』 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
⑥ 成績証明書Ⅰ通	在学・出身校	在学・出身校にて発行 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可
⑦ 本人確認書類Ⅰ通		申込書に記入した個人番号（マイナンバー）の本人確認書類を提出してください。 ※ 別紙「個人番号の記入と本人確認書類の提出について」を参照してください。 ※ 複数の奨学金を申し込む場合もⅠ通で可

※ 奨学金（貸与型）又はみどりの給付型奨学金の申込みと同時に入学準備金（貸与型）の申込みを行う場合、上記③から⑦の書類はⅠ通の提出で可能です。

※ 申込者及び同居世帯のうち納税義務者全員の個人番号（行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定める個人番号をいいます。）は、奨学資金の貸与に関する事務を行うために利用します。

6. 申込期間

令和7年12月1日（月）～ 令和8年1月30日（金）必着 ※土・日・祝日・年末年始を除く。

7. 入学準備金の決定

書類選考により合否決定を行い、**3月上旬**に申込者本人に通知します。

8. 貸与決定後の手続き

決定通知を受け取られた後、教育委員会が定める日までに入学を予定されている者の**合格通知書**と**借用証書**ほか**所定の書類の提出が必要**となりますが、貸与にあたり必ず**連帯保証人が1名必要**です。
連帯保証人は同居の家族以外の方で**日田市に住所を有する年齢25歳以上の方**とします。

連帯保証人の方より提出していただく書類として、次の書類が必要となります。

ただし、奨学金の貸与を受ける方で、連帯保証人が同じ方の場合には提出を省略できます。

借用証書提出時	①滞納のない証明書（市税） ②市県民税所得課税証明書（市民税の所得割額がある方のみ）又は固定資産税の納税証明書 ③印鑑登録証明書 ④住民票（本籍記載のもの）	※借用証書の連帯保証人の記載欄に、 自署および実印の押印が必要です。
---------	---	---------------------------------------

9. 入学準備金の返還

返還につきましては、入学準備金を借り受けた月から6ヶ月間据え置いた後、下表のとおり返還していただきます。

貸与を受けた入学準備金の額	返還期間	返還方法
100,000 円以下	20 月以内	※ 原則として月賦による返還とします。 ただし、その全額を一時に返還し、又はその一部を繰り上げて返還することもできます。
100,000 円を超え 200,000 円以下	40 月以内	
200,000 円を超えるもの	60 月以内	
備考： 返還期間は、同一日に貸与の決定を受けた額の合計額によります。		
返還例①：同じ年度に2人の入学準備金の貸与を受けた場合		
令和8年3月＝兄 大学進学のため20万円貸与		} 令和8年10月より30万円を60月以内に返還
令和8年3月＝弟 高校進学のため10万円貸与		
返還例②：別の年度に2人が入学準備金の貸与を受けた場合		
令和7年3月＝兄 大学進学のため20万円貸与 …		令和7年10月より20万円を40月以内に返還
令和8年3月＝弟 高校進学のため10万円貸与 …		令和8年10月より10万円を20月以内に返還
※ 当該年度に貸与を受けた入学準備金の合計金額に対し、上記の返還期間内で返還していただきます。		
よって、例②のように違う年度で貸与を受けた場合は、貸与金額の合算による返還はできません。		

申込み・問い合わせ先

日田市教育委員会 教育総務課 総務企画係（日田市役所別館3階）

〒877-8601 日田市田島2丁目6-1

TEL （代表）23-3111（内線922）、（直通）22-8234

※日田市のホームページでも募集のお知らせを行っています。（様式のダウンロード可）

日田市ホームページアドレス <https://www.city.hita.oita.jp/>

※ 各振興局、各振興センターでも申込み受付を行っています。

《申込書の記入及び関係書類提出にあたっての注意事項》

申込書等は、選考上大切な資料となります。下記事項に留意のうえ必要事項を記入し、提出ください。

Ⅰ. 日田市奨学金申込書について

(1) 進学予定校・学部学科名の欄

ア 希望する学校・学部・学科名まで記入してください。

(専修学校の場合は、その学科(課程)が何年制であるのか記入してください。)

イ 希望する学校等は、決定・未定を選択し、未定の方は決定次第必ず届けてください。

(2) 貸与申請額の欄

ア 奨学金は学校区分ごとに定められた貸与限度額の範囲内で希望する額を記入してください。

(高等学校で、鉄道又はバスにて通学を行う場合は、月額貸与限度額に 4,000 円を上限に加算できます。上記方法で通学し加算を希望される方は、加算の欄に希望する額を記入してください。)

(3) 家族構成の欄

ア 家族は、同居・別居を問わず、生計を一にする方全員を記入してください。

イ 就学者を除く家族欄には、就学者以外の家族全員(父母・祖父母等)を記入してください。

ウ 申込者(生徒)及び同居世帯のうち**納税義務者全員**の個人番号(マイナンバー)を記入してください。個人番号(マイナンバー)が不明の場合で、市職員による番号確認に同意される方は「提出前チェックシート」の承諾欄にチェックを入れてください。

エ 就学者欄には、現在就学中の家族を記入してください。

オ 就学者欄の各項目のあてはまる箇所を○で囲んでください。

カ 家族及び就学者の状況・年齢・学年はすべて申込み時現在とします。

(4) 日田市奨学資金以外に受けることが予定(受給)されている奨学資金の名称の欄

ア 他に予定(受給)されている奨学金の正式名称を記入してください。

イ 日本学生支援機構については、第1種、第2種又は給付を必ず記入してください。

2. 日田市入学準備金申込書について

(1) 進学予定校・学部学科名の欄

- ア 希望する学校・学部・学科名まで記入してください。
(専修学校の場合は、その学科(課程)が何年制であるのかまで記入してください。)

(2) 貸与申請額の欄

- ア 入学準備金は、学校区分ごとに定められた貸与限度額の範囲内で希望する額を記入してください。

(3) 家族構成の欄

- ア 家族は、同居・別居を問わず、生計を一にする方全員を記入してください。
イ 就学者を除く家族欄には、就学者以外の家族全員(父母・祖父母等)を記入してください。
ウ 申込者(生徒)及び同居世帯のうち**納税義務者全員**の個人番号(マイナンバー)を記入してください。個人番号(マイナンバー)が不明の場合で、市職員による番号確認に同意される方は「提出前チェックシート」の承諾欄にチェックを入れてください。
エ 就学者欄には、現在就学中の家族を記入してください。
オ 就学者欄の各項目のあてはまる箇所を○で囲んでください。
カ 家族及び就学者の状況・年齢・学年はすべて申込み時現在とします。

3. 市税等納付状況証明、推薦調書及び学業成績証明書等





- ア 市税等納付状況証明は、『市税等納付状況証明願』(様式)に世帯内の納税義務者全員の氏名、続柄を記入し、市役所本庁1階税務課又は振興局若しくは振興センターで取得してください(有料)。
イ 推薦調書(様式)及び学業成績証明書は、在学校又は出身校へ交付を依頼してください。(学業成績証明書は開封すると無効になりますのでご注意ください)
ウ 日田市奨学金、日田市入学準備金、日田市みどりの給付型奨学金の申込みを行う場合において、2種類以上の奨学金を同時に申し込むときは、同意書、市税等納付状況証明、推薦調書、学業成績証明書及び本人確認書類は1通の提出が可能です。

個人番号の記入と本人確認書類の提出について

日田市奨学金の貸与や給付を申請する場合は、申込書への個人番号（マイナンバー）記入と本人確認書類の添付が必要となります。

つきましては、本人確認書類として下記の3パターンの組み合わせのうち、いずれかを選択し、申込書とともに提出ください。

■本人確認書類の例（次の1～3のいずれかの組み合わせが必要となります。）

	番号確認用		身元（実存）確認用
1	「個人番号カード」のコピー1枚（裏） 	+	「個人番号カード」のコピー1枚（表） 
2	「通知カード」のコピー 又は「住民票（個人番号付き）」のコピー 	+	次のうち、いずれかのコピーを1枚 （顔写真付きのもの） ・運転免許証 ・旅券（パスポート） ・住民基本台帳カード ・身体障害者手帳 ・精神障害者保険福祉手帳 ・在留カード ・特別永住者証明書 など
3	「通知カード」のコピー 又は「住民票（個人番号付き）」のコピー 	+	次のうち、いずれかのコピーを2枚 ・公的医療保険の被保険者証（健康保険証） ・介護保険被保険者証 ・国民年金手帳 ・児童扶養手当証書 ・学生証 など ※同じもの2枚ではありません。 （例）「健康保険証のコピー2枚」ではなく、 「健康保険証と年金手帳のコピーを1枚ずつ」

※学生の提出書類例：通知カードのコピー＋保険証のコピー＋学生証のコピー

※高齢者の提出書類例：通知カードのコピー＋後期高齢者医療被保険者証のコピー＋介護保険被保険者証のコピー

※健康保険証をコピーする場合は「記号」「番号」「保険者番号」をマスキング（紙などで隠すこと）してください。

※住民票を取得する場合、所定の手数料が必要となります。